

110th

ANNIVERSARY
SINCE 1905

克明俊徳百十周年

明日への道標



学校法人 今治明德学園

大学之道ハ、 明德ヲ明ラカニスルニ在リ、 民ヲ新ニスルニ在リ、 至善ニ止マルニ在リ

中国の古典『大学』より

煌めく未来に向けて、 根付け・轟け 克明俊徳



今治明德学園 理事長 白川見敬

錦繡の秋気、天に満ち、霊峰石鎚山系に朝霧立ち上る今日の佳き日、学校法人今治明德学園・今治明德高等学校創立百十周年記念並びに今治明德短期大学開学五十周年記念式典を挙げるに当たりまして、多数のご来賓各位のご臨席を賜りましたことは、学園役員・学生・生徒・教職員にとりまして、この上ない感激であります。心から感謝申し上げます。

今日の喜びは、その陰に学園関係者の永年にわたるご苦勞が秘められており、同時に各方面からの暖かいご指導、ご支援の賜物であることに厚くお礼申し上げたいと存じます。

顧みますと、本学園の源は明治39年、玉井高助初代校長先生が「私立今治技芸女学校」を開校された時点に遡ります。その後幾多の変遷を経て、昭和4年3月に所在地の北日吉町1丁目に移転し、昭和23年4月に第2代山本徳行校長先生が語り尽くせぬご手腕を発揮され、今治明德高等学校を再建されて以来、建学の精神「明明徳」を体現させるべく現在まで努力の歳月を重ねてまいりました。

今日までの百十年間の幾多の苦難の歴史を顧みる時、殊に、太平洋戦争末期の昭和20年のB29爆撃機の空襲による全校舎の倒壊・焼失、加えて玉井校長先生以下教職員5名、生徒4名が犠牲となりましたことは、まさに学校存亡の危機でありましたが、学校関係者の不屈の精神と明德を愛する人々のお力添えにより、復興・再建がなされ、現在までの発展を見るにいたりました。今ここに歴代理事長・校長をはじめ関係諸先輩・諸先生に対し尊敬と感謝の気持ちを捧げたいと思います。

現在今治明德学園は、今治明德短期大学・今治明德高等学校本校・矢田分校・今治明德中学校の4校を擁し、これからの時代に通用する有為な人材を育成すべく、学生・生徒諸君の懸命な頑張りを期待し、本学園を更に充実発展させ、ひいては愛媛の私学振興に寄与する覚悟であります。

来し方を振り返り、はるかな煌めく未来を展望するとき、地域社会の方々のご厚情に深く感謝いたしますと共に、今後なお一層の皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げましてご挨拶いたします。

今治明德短期大学 開学50周年を迎えて



今治明德短期大学 学長 野口 学

今治明德短期大学開学50周年を迎えることになりました。

本学が、その産声をあげたのが昭和41年、当初、家政科のみでありましたが、爾来、社会のニーズに応えるべく学科の増設を図り、現在、2学科1別科、7つの養成課程を擁する短期大学として発展しております。本学は、半世紀にわたって東予地域の人材養成の拠点として、有為の専門職業人を輩出してまいりました。地域から、高く評価されているところであります。

大学のミッションとして、教育・研究がありますが、もうひとつ、社会への貢献という使命があります。大学が地域にどのように関わっていくことができるのか、そのことがとりわけ地方の大学には問われています。本学は、平成26年度に文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(COC)に全国の短大で唯一採択されました。現在、今治市、地域と連携した協同的な取り組みとして事業を展開させております。この事業をばねにして、地域のニーズに能動的・機動的に応え、地域とともに歩み、地域とともに発展する「福祉と教育と食」の総合短期大学を目指したいと考えております。開学50周年を迎え、このことを改めて強く決意する次第であります。今後とも、本学の使命に対しましてご理解を戴き、さらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今治明德学園110周年に寄せて



今治明德中学校・高等学校 校長 濱元一馬

本校は、明治39年5月に創立者玉井高助初代校長先生のご自宅を仮校舎として設立されました。爾来、現在地への校地校舎の移転、校舎の被災、学制改革の再編や校名変更、今治明德短期大学・今治明德中学校・今治明德高等学校矢田分校開校を経て、今年度、記念すべき年を迎えることとなりました。その間、東予地域の多くの方々からの支援を受けながらも幾多の変遷と躍進を重ねてまいりました。同窓生も2万数千有余名に及び、地元はもとより、全国各地各界で活躍し、輝かしい歴史を刻んでまいりました。このことは、在校生にとりましても大きな励みであり、心強い限りであります。改めて厚く感謝申し上げます。

さて、2016年3月に文部科学省から「高大接続システム改革」の最終報告が公表されました。これは、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体改革を表すもので、最後の教育改革と言われています。本学園にとっても大きな課題ではありますが、次の時代の担い手となる人材育成を目指し、今後ますますの発展を期していきたいと考えます。



今治明德短期大学

教育目的

- 1 豊かな人間性と優れた専門能力を兼ね備えた人材に育つこと
- 2 時代の要請、地域のニーズに応ずる新しい学問・技術を習得すること
- 3 グローバルな視野を身に付けた教養人としての素地が整うこと
- 4 心の美しい礼儀正しい自主的・協同的な社会人となること

教育目標

- 1 学生一人ひとりに固有な徳性を尊重する多様で柔軟な教育
- 2 少人数教育を通じて学生が教師と直接ふれあえる人間教育
- 3 基礎から積み上げる学問、行き届いた技能訓練と綿密な実習指導を通して、確かな学識と優れた実践的技能を修得させるような教育



今治明德高等学校

今治明德高等学校矢田分校

教育方針

- 1 明德の実践
- 2 明德を愛する心の育成
- 3 国際人としての近代的素養の修得

努力目標

〈本校〉	〈矢田分校〉
学力向上の推進	自主学習の充実
健全な生活の習慣づけ	自律生活の習慣づけ
心身の鍛錬の推進	自己鍛錬の推進



今治明德中学校

教育方針

- 明德の実践を人間教育の基本とする。
明德の実践とは人間一人ひとりの心の中に存在する徳を磨くことである。
- 1 自主自律の精神を育てる。
 - 2 豊かな創造性を育てる。
 - 3 たくましい心身と実践力を育てる。

教育目標

- 徹底した進学教育
- 1 基礎学力の充実と応用力の伸長
 - 2 可能性への挑戦(より高いレベルへ)
 - 3 個別指導の徹底(きめ細かい指導)



歴代理事長・校長・学長



初代校長
玉井 高助
(明治39年5月1日～昭和20年4月26日)



初代理事長・第2代校長・初代学長
山本 徳行
理事長(昭和26年3月9日～53年1月25日)
校長(昭和20年11月5日～46年3月31日)
学長(昭和41年～53年1月25日)



第2代理事長・第3代校長・第3代学長
山本 達郎
理事長(昭和53年3月13日～平成7年3月31日)
校長(昭和46年4月1日～平成5年3月31日)
学長(昭和62年4月1日～平成7年9月14日)



第3代理事長
壺内 一枝
(平成7年4月6日～9年2月5日)



第4代理事長・第4代校長
藤田 典夫
理事長(平成9年5月23日～11年6月23日)
校長(平成5年4月1日～13年3月31日)



第5代理事長
岡島 一夫
(平成11年6月24日～15年4月12日)



第6代理事長
鳥生 好則
(平成15年4月14日～20年9月5日)



第2代学長
宮本 七郎
(昭和53年4月1日～62年3月31日)



第4代学長
星島 一夫
(平成7年10月12日～14年9月10日)



第5代学長
佐藤 晃一
(平成14年9月11日～18年9月10日)



第7代理事長
田中 有男
(平成20年9月6日～26年4月16日)



第8代理事長・第5代校長
白川 見敬
校長(平成13年4月1日～28年3月31日)
理事長(平成26年4月21日～)



第6代学長
野口 学
(平成19年4月1日～)



第6代校長
濱元 一馬
(平成28年4月1日～)



平成28年度 学校法人今治明德学園 役員・評議員

今治明德短期大学 50年の軌跡

- 明治 39年 5月 1日 玉井高助氏宅に私立今治技芸女学校を開校
- 昭和 26年 3月 9日 学校法人今治明德学園設立認可
- 昭和 39年 12月 15日 短大校他(阿方・矢田5,706坪)購入
- 昭和 41年 1月 25日 今治明德短期大学設置認可
- 昭和 41年 3月 5日 教員養成課程認可
- 昭和 41年 3月 22日 栄養士養成施設認可
- 昭和 41年 4月 12日 今治明德短期大学開校(学生数94名)
山本德行 初代学長に就任
- 昭和 41年 10月 8日 学園創立60周年・短大開学式挙行
- 昭和 42年 5月 1日 校地(2,676㎡)購入
- 昭和 42年 8月 31日 学生集会所(136㎡)増築
- 昭和 43年 2月 23日 保健・養護教諭資格認可
- 昭和 43年 7月 23日 学則変更認可
- 昭和 44年 1月 6日 家政・食物栄養専攻分離、学則変更認可
- 昭和 44年 2月 1日 鉄筋コンクリート二階建校舎(1,401㎡)完成
- 昭和 44年 2月 22日 増築校舎落成式
- 昭和 44年 8月 8日 司書講習の単位認可
- 昭和 45年 3月 31日 昭和45年度文部省委嘱図書館専門職員養成講習認可
- 昭和 45年 7月 11日 文部省委嘱司書・司書補講習会開催(60日間)
- 昭和 48年 1月 27日 寄付行為変更認可、幼児教育学科設置認可
- 昭和 48年 1月 29日 教員養成(幼稚園教諭)認可
- 昭和 48年 3月 22日 保母養成施設認可
- 昭和 48年 4月 11日 幼児教育学科開設、家政科を家政学科と改称
- 昭和 51年 5月 1日 学園創立70周年・短大創立10周年式典挙行
- 昭和 53年 1月 25日 山本学長 逝去
- 昭和 53年 3月 13日 山本達郎 理事長に就任
- 昭和 53年 4月 1日 宮本七郎 第二代学長に就任
- 昭和 54年 1月 25日 山本前学長 胸像を前庭に建立
- 昭和 57年 4月 1日 宮本七郎 学長再任
- 昭和 60年 2月 20日 体育館(1,479.11㎡)完成
特別教棟(図書館、音楽室、美術室 467.95㎡)完成
- 昭和 60年 4月 27日 体育館・特別教棟落成式挙行
- 昭和 61年 4月 1日 宮本七郎 学長再任
- 昭和 61年 11月 3日 学園創立80周年・短大創立20周年式典挙行
- 昭和 62年 3月 31日 宮本学長 退任
- 昭和 62年 4月 1日 山本達郎 第三代学長に就任
- 昭和 63年 4月 1日 家政学科を生活科学科と名称変更
- 昭和 63年 12月 22日 幼児教育学科専攻科設置認可
- 平成 元年 1月 30日 介護福祉士養成施設認可
- 平成 元年 4月 1日 幼児教育学科専攻科開設



開学当時の今治明德短期大学



第2回 入学式(昭和42年)



昭和45年当時の校舎



寮増築(昭和58年)



特別教棟建設

- 平成 3年 4月 1日 山本達郎 学長再任
- 平成 7年 4月 6日 壺内一枝 理事長に就任
- 平成 7年 9月 14日 山本学長 退任
- 平成 7年 10月 12日 星島一夫 第四代学長に就任
- 平成 8年 11月 12日 学園創立90周年・短大創立30周年式典挙行
- 平成 9年 5月 23日 薦田典夫 理事長に就任
- 平成 11年 4月 1日 星島一夫 学長再任
- 平成 11年 6月 24日 岡島一夫 理事長に就任
- 平成 12年 3月 1日 介護福祉士養成施設認可
- 平成 12年 4月 1日 生活科学科生活福祉専攻開設
- 平成 14年 9月 10日 星島一夫 学長退任
- 平成 14年 9月 11日 佐藤晃一 第五代学長に就任
- 平成 15年 4月 14日 鳥生好則 理事長に就任
- 平成 17年 4月 1日 生活科学科をライフデザイン学科に名称変更
- 平成 17年 4月 1日 栄養教諭免許認可
- 平成 18年 9月 10日 佐藤晃一 学長退任
- 平成 18年 9月 11日 野口学 学長代行に就任
- 平成 18年 11月 2日 学園創立100周年・短大創立40周年式典挙行
- 平成 19年 4月 1日 野口学 第六代学長に就任
- 平成 20年 3月 31日 幼児教育学科専攻科廃止
- 平成 20年 9月 6日 田中有男 理事長に就任
- 平成 20年 10月 15日 調理師養成施設認可
- 平成 20年 12月 18日 製菓衛生師養成施設認可
- 平成 21年 4月 1日 別科調理専修開設
- 平成 23年 4月 1日 野口学 学長再任
- 平成 26年 4月 1日 別科調理専修を調理師専修科に名称変更
- 平成 26年 4月 21日 白川見敬 理事長就任
- 平成 26年 4月 21日 3号館落成式挙行
- 平成 27年 4月 1日 野口学 学長再任



現在の今治明德短期大学



短大創立20周年記念コンサート(昭和61年)



絵本の読み聞かせ(幼児教育学科)



看護実習(生活科学科)



福祉と障がいについての教育(ライフデザイン学科)



子育て支援の場の提供(幼児教育学科)

今治明德高等学校 本校・矢田分校 110年の軌跡

- 明治 39年 5月 1日 今治技芸女学校創立 修学年限2年
玉井高助 初代校長に就任
- 明治 44年 3月 31日 今治市吹揚城跡西北に校舎(62.25坪)竣工
- 大正 4年 4月 1日 修学年限3年に変更
- 大正 8年 5月 1日 今治実科高等女学校併置 修学年限3年
- 昭和 5年 3月 31日 現在地に移転(2階建校舎1棟・付属建物計133.75坪)
今治技芸女学校廃止
- 昭和 15年 4月 1日 今治明德高等女学校設立(高等女学校令)
- 昭和 19年 3月 31日 今治実科高等女学校廃止
- 昭和 20年 4月 26日 戦災による校舎倒壊 玉井校長・職員4名・生徒4名爆死
- 昭和 20年 8月 5日 戦災による校舎全焼
- 昭和 20年 11月 5日 山本德行 第二代校長に就任
- 昭和 21年 10月 26日 第一校舎(421.4坪)竣工
- 昭和 22年 4月 1日 今治明德中学校併設
- 昭和 23年 3月 31日 財団法人今治明德高等学校設立認可
- 昭和 23年 4月 1日 高等女学校を高等学校に組織変更
- 昭和 24年 4月 1日 別科普通部設置 修学年限1年
- 昭和 25年 4月 1日 別科専修部設置 修学年限2年
- 昭和 26年 3月 9日 学校法人今治明德学園設立認可
山本德行 初代理事長に就任
- 昭和 28年 3月 31日 今治明德中学校廃止
- 昭和 29年 3月 31日 別科普通部廃止
- 昭和 31年 10月 12日 創立50周年記念式典挙行・本館(174.5坪)竣工
- 昭和 34年 3月 31日 別科専修部廃止
- 昭和 34年 8月 5日 ソフトボール部全日本大会優勝
- 昭和 35年 8月 5日 ソフトボール部全日本大会優勝
- 昭和 36年 3月 15日 講堂兼体育館(539.73坪)竣工
- 昭和 39年 6月 10日 バレーボール部国民体育大会優勝
- 昭和 39年 8月 4日 バレーボール部全日本大会優勝
- 昭和 46年 4月 1日 山本達郎 第三代校長に就任
- 昭和 53年 3月 13日 山本達郎 第二代理事長に就任
- 昭和 56年 4月 10日 男子部設置(第一期生49名)
- 昭和 59年 7月 31日 アメリカ合衆国ハドソンベイ高校と姉妹校提携
- 昭和 61年 8月 カナタイプ部全国高校タイプライティング競技大会
カナタイプ部門団体優勝 個人の部 久保美由貴 優勝
- 平成 2年 12月 15日 体育館(1,909.71㎡)竣工
- 平成 3年 8月 陸上競技部全国高校総体 奥平陽子 優勝(砲丸投げ)
- 平成 5年 4月 1日 矢田分校校舎(477㎡)竣工
薦田典夫 第四代校長に就任
- 平成 6年 8月 陸上競技部全国高校総体 川下智志 優勝(ハンマー投げ)
- 平成 7年 4月 6日 壺内一枝 第三代理事長に就任



黎明期の吹揚校舎と学園創立者 玉井高助先生



昭和8年 数学のテスト風景 当時黒板に試験問題を教師が板書し生徒はそれを見て答案用紙に解答した



ソフトボール部凱旋帰今 今治港で出迎えを受ける



「女子高」が男子を受け入れたのは県内初であった

- 平成 8年 8月 陸上競技部全国高校総体 村上幸史 優勝(槍投げ)
- 平成 8年 10月 15日 陸上競技部国民体育大会 村上幸史 優勝(槍投げ)
- 平成 9年 5月 23日 薦田典夫 第四代理事長に就任
- 平成 9年 8月 陸上競技部全国高校総体 村上幸史 優勝(槍投げ・円盤投げ)
- 平成 10年 8月 陸上競技部全国高校総体 清水めぐみ 優勝(槍投げ)
- 平成 11年 6月 24日 岡島一夫 第五代理事長に就任
- 平成 13年 4月 1日 白川見敬 第五代校長に就任
- 平成 15年 4月 14日 鳥生好則 第六代理事長に就任
- 平成 15年 4月 26日 今治明德高女戦没者慰霊碑設置
- 平成 18年 4月 1日 美容コース設置(穴吹ビューティカレッジ通信課程)
矢田分校・愛媛大学・沖縄尚学高校と共催で高大連携「平和サミット IN 愛媛」を松山、今治、徳島を会場にして開催
- 平成 18年 11月 2日 創立100周年記念式典挙行・慰霊祭
- 平成 20年 9月 6日 田中有男 第七代理事長に就任
- 平成 25年 10月 陸上競技部 国民体育大会 相原大聖 優勝(槍投げ)
- 平成 26年 4月 21日 白川見敬 第八代理事長に就任
- 平成 26年 7月 陸上競技部 第15回世界ジュニア選手権大会
森秀 8位(槍投げ)
- 平成 26年 8月 陸上競技部 全国高校総体 森秀 優勝(槍投げ)
- 平成 26年 10月 陸上競技部 国民体育大会 森秀 優勝(槍投げ)
- 平成 28年 4月 1日 濱元一馬 第六代校長に就任
- 平成 28年 8月 16日 平成29年4月1日から矢田分校の入学定員を40名から80名にする学則変更認可



今治明德高等学校 矢田分校校舎竣工



「平和サミット IN 愛媛」愛媛大学での分科会



村上幸史 世界陸上ベルリン大会 銅メダル獲得

今治明德中学校の軌跡

- 平成 7年 4月 今治明德中学校開校 薦田典夫 初代校長に就任
- 平成 10年 3月 第一期卒業
- 平成 13年 4月 白川見敬就任 第二代校長に就任
- 平成 17年 11月 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会出場(女子)
- 平成 20年 8月 全日本ジュニアテニス選手権大会(テニス部男子個人)
全国中学生テニス選手権大会出場(テニス部男子個人)
- 平成 21年 4月 入学定員を40名から80名に学則変更
- 平成 21年 8月 全日本ジュニアテニス選手権大会(テニス部男子個人)
全国中学生テニス選手権大会出場(テニス部男子個人)
- 平成 21年 9月 全日本中学校陸上競技選手権大会出場(陸上競技部男子個人)
- 平成 21年 10月 新校舎完成
- 平成 23年 8月 ジュニアオリンピック陸上競技大会出場(陸上競技部男子個人)
- 平成 25年 4月 全国中学生テニス選手権大会出場(テニス部男子個人)
- 平成 26年 8月 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会出場(女子)
- 平成 27年 8月 全国中学生テニス選手権大会出場(テニス部男子個人)
- 平成 27年 10月 全日本中学校陸上競技選手権大会出場(陸上競技部男子個人)
- 平成 28年 4月 ジュニアオリンピック陸上競技大会出場(陸上競技部男子・女子個人)
- 平成 28年 4月 濱元一馬 第三代校長に就任



今治明德中学校 校舎



卒業式

卒業生からのメッセージ



今治明德短期大学
食物課程
(昭和49年度卒業)
品部 照子

くすの木会 会長

卒業生として地域に生きる

今治明德学園110周年、並びに今治明德短期大学開学50周年という、卒業生にとっても誇るべき記念式典を共にお祝いできますことを諸先生方をはじめ関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。

私は昭和45年に明德高校に入学し、そのまま自宅から通える地元の明德短期大学食物課程に7期生として進学させていただきました。開学して7年目、先生方も学生も和気あいの雰囲気の中で高校から短大と明德一色の学生生活を過ごしました。

卒業してからは母校に出入りするともなくなり、時折友人と連絡を取り合ったり、縁の深かった恩師との年賀状のやり取り程度の生活をしておりました。そうしていつのまにか心の距離が遠くなるごとに日々敷居は高くなり愛着も薄らいでいきました。

そんなある日、食物課程の担任をしていただいた薦田先生から突然「短大の同窓会の役員を…」とのお電話をいただきました。久しぶりの懐かしい先生の声をお聞きし、断り切れず仰せつかったのが始まりで、今日まで20数年…くすの木会を通して再び母校との密接な繋がりが続いています。

このようにたった1本の電話で母校との絆を取り戻した自分の体験からも恩師や同窓会の担う役割は大変大きくおろそかにしてはいけないと痛感しております。東日本大震災がきっかけとなり日本人の中にだんだん薄らいできていた人と人のつながりの大切さに再び気づかされた方も多いのではないのでしょうか？

今も、「くすの木会」に関わらせていただいている事を感謝し、母校と卒業生、また各地域職域に根を下ろし活躍している卒業生同士のご縁を永遠につなぐ架け橋としての責任を新たにしております。そのためにも「くすの木会」の役員の皆様方とともに、まず自分たちが仲良く楽しく充実した活動をしていきたいと思っております。そうする中で少しずつでも同窓のよしみの人の輪がひろがって、さらなる絆づくりのお手伝いが出来たらと願っております。

同窓会より今治明德学園、今治明德短期大学のさらなるご発展を心からお祈り申し上げます。



今治明德短期大学
幼児教育学科
(平成2年度卒業)
重見 幸二

くすの木会 副会長

明德短大を卒業して人生を振り返る!

今治明德短期大学開学50周年また、明德学園創立110周年誠におめでとうございます。私は、現在、社会福祉法人宗友福祉会で勤務をして27年目となります。縁あって卒業生で、活動しているくすの木会のお手伝いをさせて頂いている次第です。今回、記念式典パンフレット発刊にあたり、一言お祝いの言葉を述べさせて頂きたいと思っております。法人が開園して110周年となりましたが、この歩みにおきましては、先達の方々の様々な絶え間ない努力とそれを受け継いできた方々のご尽力があったからこそだと思います。先日ある雑誌に次のような事が、書かれてありました。日本全国に今、大中小、零細企業をあわせて、約600万社があり、その中で百年以上続くいわゆる老舗企業は、約15,200社、率で言えば、0.25%にすぎないと書かれてありました。今治明德学園は今後、200年続く法人として存続し、地域に貢献して頂きたいと願います。

その為には、いい企業理念を掲げなければならないという事が基本だと思われれます。今治明德学園は学校名に理念そのものをおいていたという事を私自身は、恥ずかしながら最近初めて知りました。私の勤める宗友福祉会では、朝礼の際に、古典の大学の素読を全職員で行っています。その文章の始めは「大学の道は明德を明らかにするに在り。民に親しむに在り。至善に止まるに在り。」となっています。意味は、「知徳を兼ね備え、世の中に良い影響を及ぼすような立派な人物となる学問の道筋は、まず、生まれながら、与えられている明德を発現するところにある。その明德が、発現されると、おのずから通ずる心、一体感が生じ、誰とも親しむようになる。さらに、判断が正しくなり、常に通りに叶った行為が出来る様になる。」と通釈されます。法人は、この理念を継承して、現在に至っていると知り、卒業生として、誇りに思います。この理念は、学校の在学中のみではなく、人生そのものの理念になると思われます。そのような学校から卒業した事を誇りに思い、今後においても、学校運営等の協力を微力ながらさせて頂き、法人の繁栄を願いたいと思っております。簡単ではございますが、お祝いの言葉とさせていただきます。



今治明德短期大学
生活科学科食物栄養専攻
(平成14年度卒業)
渡邊 陽子

今治明德短期大学
調理師専修科 講師

今治明德短期大学50周年を迎えて「未来へ」

今治明德学園110周年・今治明德短期大学開学50周年にあたり心よりお祝いを申し上げます。

私の学生時代はとても思い出深く私の人生の再スタートでした。

私は、今治明德短期大学 生活科学科 食物栄養専攻(現:ライフデザイン学科食物栄養コース)に社会人入学いたしました。入学に至る前、年齢の事、学納金の事、学びに対する事など不安でいっぱいでしたが、他にも社会人入学の方がいて、お互い一度社会を経験しているので時間の大切さや、勉強の意義、資格を取得したいと言う同じ気持ちを持っていた事もありすぐになじむ事ができ、「ここでできるだけの資格を取ろう!」と常に意識し勉強に励み、若いクラスメート達とも仲良く学ぶ事ができました。

若い学生たちにとっても、社会人学生との関わりにより学びの姿勢を感じることは良い事だったのではないのでしょうか。

また、ゼミ担当の先生や食物栄養専攻の教職員の方との距離が近く、分からないところの補習や、不満や愚痴・悩みをちゃんと聞いて下さりました。

私にとっては充実した学生生活を送る事が出来た2年間でした。先生、職員の方との出会いがなければ今の私はなかったでしょう。本当に感謝しております。ありがとうございました。

卒業後、食物栄養専攻の副手に就任し、現在、今治明德短期大学 調理師専修科の実習助手そして講師として今年で14年を迎えました。

本学の建学の精神「明德を明らかにする」社会人、大人になるためには自分の中に隠れている才能、個性を開花させ最高の状態を目指しましょうという教を、今治明德短期大学開学50周年を迎え、改めて学生と共にこれからも学んでいこうと思っています。

短期大学のさらなる発展・飛躍の為に努力していく気持ちを新たに短期大学と共に歩んでゆきたいと思っています。

開学50周年本当におめでとうございます。さらなる発展を祈念しております。



平成28年度 今治明德短期大学教職員



今治明德高等学校 本校
(平成26年度卒業)

森 秀

日本大学文理学部
体育学科

今治明德高等学校での3年間

私は、小学校から野球を続けていました。高校進学にあたり「やり投げをやってみないか。」と勧められ、姉も今治明德高校でやり投げをしていた縁で、興味を持ち入学を決意しました。

入学後、練習するうちにやり投げが楽しくなり、高校1年生で全国大会の舞台を経験させてもらうことができました。しかし、全国の壁は厚く出場するだけの全国大会となりました。その悔しさをバネに練習に励み、1年生の秋には、高校1年生としては日本歴代1位の記録を残すことができました。

順調に冬期練習をこなし、2年生では世界ユース大会に出場しました。しかし、順風満帆な日々は続かず、左膝を故障し手術を受けることになりました。無我夢中でやっていた練習が思うようにできなくなり、人間的にも沈んだ時期もありました。

そんな時に、一生懸命に励ましてくれたり、叱ってくれた先生方のおかげでリハビリにも耐え、練習に復帰することができました。冬期練習には少し遅れて入ったのですが、遅れを取り戻すために必死で練習しました。そして再び、世界ユースに出場し、8位に入賞し、インターハイ、国体、日本ジュニアの三冠を達成することができました。

3年間で振り返って、「人との出会い」「恩師との信頼感」の大切さを学んだと思います。

今治明德高校 陸上競技部で指導していただいた濱元校長先生、青野先生、永井先生、藤原先生の御指導のおかげで大きな「夢」を見られたし、実現することができました。また、周囲の方々の応援や支えのおかげで自分自身が納得する結果を残すことができました。先生方に「出会いの大切さ」についてよく話をされました。このことを忘れず、今後の競技生活や学生生活にいかし、さらなる大きな「夢」を実現させるように頑張っていこうと思います。



今治明德高等学校 矢田分校
(平成25年度卒業)

山下 真弘

松山大学人文学部社会学科

矢田分校での3年間

私は、高校入学前から今の大学生活に至るまでに、数々の挫折・喜びをかみしめた『波乱万丈の日々』を過ごしてきました。

私は高校入学時には、「これからが不安すぎる。どうすればいいんだろう。」という気持ちになっていました。考えているうちに、「中学時代は、周りから言われてからじゃないと勉強しなかったし、行動もしなかった」ということに自分自身が気づくことができました。そこで、高校3年間で誰からも何も言われなくても行動できる人となり、「人生で一番必死に頑張ろう」という強い決意を固めて入学しました。

高校入学後は中学時代とは打って変わって勉学に励み、1年生の時から放課後も学校に残って勉強する習慣をつけました。中でも特に検定の勉強に時間を割き、1年生の冬に「漢字検定2級」、2年生の夏には「英語検定2級」を取得することができました。英語検定については、校内で英検講座が開講されており、1次の筆記試験対策・2次の面接試験対策も、矢田分校の諸先生方にこれでもかというぐらいご指導いただきました。その甲斐もあって本番は、「これだけやってきたのだから受かる!」という自信をもって試験に臨むことができました。

現在、大学生活で私は様々な活動に取り組んでいます。被災地へのボランティア活動・学生委員として全国セミナーのグループリーダーに挑戦、災害を通して愛媛からできることを考え、実行していく学生団体の設立&代表職への就任、新入生の新生活準備のサポートなど、今の大学生活が最高に充実していると言えます。理由は自ら行動していくことで活動に楽しさを覚え、挑戦の幅も広がっているからです。矢田分校在学中に味わった悔しさと先生方の御指導があって今の自分があります。

現在は、就職活動に向けての準備を着々と進めています。社会に出てからも、矢田分校で培った行動力と粘り強さを武器に、様々な事に挑戦していくつもりです。在校生の皆さんも、矢田分校で個性を磨き、それぞれの道で活躍してください。



今治明德中学校1期生
(平成9年度卒業)

重松 伸寛

きぬぼし歯科 院長

今治明德中学校での3年間

今治明德学園創立110周年おめでとうございます。

平成7年、私たち1期生25名は開校したばかりの今治明德中学校に入学しました。初めての制服、体操服、校舎と何もかもが新鮮でした。その中で、いろいろな学校行事を先生方と一つひとつ作り上げて、こなしていったのを思い出されます。特に平成9年にやっと3学年がそろっての運動会は本当に手作り、アットホームな雰囲気の中、一生懸命走っていたことが懐かしく思い出されます。

あれからもう22年がたち、徐々に生徒数も増加して各学年3クラス体制となり、校歌や校旗も完成して、部活動にも熱心に取り組む生徒もいると聞き、名実ともに立派な学校になったことを本当にうれしく思います。

そして、中学校での3年間は、物事の取り組み方を学んだ時間でした。

私にとって授業の質が高く、入学当初から勉強についていけなくなっていました。そんな私を先生は見放すのではなく、ありのままに受け止めてくれて、じっくりと向き合い、根気強く勉強につき合ってくださいました。飽きっぽく、すぐ逃げ出してしまう私に目標点を達成するまで徹底的に指導を繰り返してくれました。おかげで色々なことを諦めずにとことん取り組めるようになりました。

今治明德中学校は当時から生徒と先生の距離が近く、しっかりコミュニケーションがとれ、それぞれに合った方向へ導いてくれていたように思います。

勉強をするだけの学校ではなく、生き方を教えてくれている場所でした。

「何事にもしっかり向き合い、諦めずにとことんやり遂げる。」

この姿勢は今でも生きて行く上での大切にしていることです。

これからも今治明德学園のさらなる発展を心より願っております。



平成28年度 今治明德中学高等学校教職員

今治明德短期大学



ライフデザイン学科 介護福祉コース



ライフデザイン学科 食物栄養コース



ライフデザイン学科 製菓製パンコース



ライフデザイン学科 国際観光ビジネスコース



幼児教育学科



調理師専修科

今治明德高等学校 本校



青春メッセージ



美容授業風景



高校野球応援



栄光の歴史



陸上部県総体フィールドアベック優勝

今治明德高等学校 矢田分校



授業風景



修学旅行



遠足



校外セミナー



クラスマッチ

今治明德中学校



運動会



百人一首大会



ディベート



集団宿泊訓練



授業風景



入学式



創立百十周年記念誌
平成28年10月発行

発行
学校法人 今治明德学園

編集
記念誌編集委員会

印刷
第一印刷株式会社
